



会報

WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファー E. ジョーンズ
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ
会長/木戸辰浩
副会長/福田和彦
幹事/及川悟

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3044回 例会報告

2022.8.19

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■点鐘 木戸辰浩 会長
■ロータリーソング (奉仕の理想)
■会長挨拶 木戸辰浩 会長

皆様、こんにちは。
お盆明けの例会となっております。皆さまどのように過ごしたかと考えております。また、私もお盆は何とリハビリ等をやっておりました。
またですね。前回の例会で皆さんにネクタイをお配りしたと思います。今後、ピンクのネクタイからグリーンネクタイに変えてもらい、有意義に使ってほしいなと思っています。

また、大会・イベントそういうものにも皆さんの趣味にも一丸となって盛り上げていきたいなと思っています。それとネクタイ、もし当たってない方は遠慮なく幹事もしくは私でも言ってもらえばいいかなと思います。

さて、先週は会員増強月間で会員増強の話をしてきましたが継続して今回はクラブ運営について少しお話をしたいと思います。

また、今日はうちの細川パストガバナーに卓話をしていただけということで大変嬉しく思っております。

クラブ運営については「会員一人一人の向上」と「会員の事業の向上」をもたらすクラブ運営に取り込む、すなわちロータリーで価値ある様々なことを学び有意義な幾多の体験を積むにつれて自らを自律し、奉仕を実践・友愛に満ちた真のロータリアンに成長していくこと。また、他クラブや会員の現状を正しく把握し、道改善すれば理想的なクラブに発展するか普段から考えるよう強く求めたいなと思います。もちろん当クラブの毎月の理事会では予算や準備・役割分担などについての具体的な協議をしていますがプログラムそのものが有意義であることはもちろん、なるべく多くの会員が一体感を感じられるような企画であることを考え、皆様方にとっても誰もが忙しい中、時間をやりくりして例会に参加していることそれは食事だけではなく例会に身を置きたいと思う何かがあると思います。

今後は価値と魅力に満ちた例会の重要性を強調していきましよう。

今の状況では理事会で協議した結果、来週は中止ということで残念でございます。今月はこれで例会終わりですが9月からまた皆さん、よろしく願いいたします。以上で会長挨拶にします。ありがとうございます。

■会務報告 及川悟 幹事
帯広北RC、8月26日(金)の例会は、休会と致します。

7月末の青少年インターアクトの件で湘南の清掃、隅田川の清掃でお世話になりましたとのことで藤澤ロータリークラブ・東京東ロータリークラブよりお礼と今後とも宜しくお願いいたしますとの文章が届いております。

西ロータリークラブの周年ご案内
道立美術館より秋の武蔵の展覧会のご案内

■ニコニコボックスの発表 福田和彦 副会長

◆本日の担当例会、よろしく願います。
高田義久 会員

■プログラム 高田 会員増強委員長
【会員卓話】

第1地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC)

第1地域恒久基金・大口寄付アドバイザー (E/MGA)
パストガバナー 細川吉博 会員

皆さん、こんにちは。
今日は会員増強ということで、まず皆さんと一緒に考えていただきたいのは、なんで会員増強もしくは脱会防止というのが必要のかなと言うことを是非考えていただければと思います。

まあ、ロータリーというのは、会員はそのままいけば当然高齢化致します。いろいろな企業でご自身でやってる方もいらっしゃるけれど、勤務されている方もいらっしゃいますけれども、いずれは経営の第一線からの引退ということも当然起こってくるわけでありまして、いろいろ他の状況、健康的な状況とか、色々な問題があるかもしれないけれども、そういう中で当然会員の数というのは継承して行きます、置いとけば必ず今のままでは減ると言うこと。ただ減ったらどうなるんだろうかと言うことですが、私たちが北ロータリークラブとしていろんな親睦活動、プロジェクトをやっておりますけれども、そのことを自体が開催する事が厳しくなるということ。まあ、例えば皆さんも副幹事とか、いろいろ地区に行ってみたときに思うと思いますけれども、4・5人で頑張ってるクラブもあれば、10・13人で頑張っているところもあります。それはそれで頑張っていますけれども、やはりその中でいろんなプロジェクトをやろうということになれば、当然制限もあるし、大きなこともできないと言うような形になるかというふうに思います。大きなことをやるだけがいいわけでは無いですが、例えば周年記念一つとってもやはりクラブのメンバーがいるからこそ、それだけの予算を取ってやれることがあるのかなというふうに思います。そういう意味で、私たちはクラブの基盤の強化というものがなきゃいけないかなと思います。

日本のロータリークラブでは50歳以上という意味で言いますと、84%から50歳以上です。まあ当然JC・40歳で終わってからくる方、商工会議所青年部で50歳ぐらいまでやってる方、いろんな方いらっしゃいますけれども、84%ほどなのかたが、50歳以上がロータリーの現状であると言うことで、するとこれはちょっとあの日本のロータリーの特別なんですけども日本のロータリークラブが90%はいつ例会をやっているんだろうかという昼ごはん時なんですね。まあ、この時間です。世界ではだいたい昼は1/3ぐらいで、ほとんどがですね。39%、一番多いのは夜の7時以降、多分食事が終わって集まるというの、まあその数がとしては30%ぐらいの間になります。もちろん、日本でもモーニングとして朝やるようなところもありますけれども、日本っていうのはほとんどクラブというのは予定の同じような形の中でやってきているものがあるということです。で、もう一回、私たちロータリーの目的って何なんだろうかと言うことをしっかりと皆さんと考えていきたいなと思います。

私たちはまず「参加型の奉仕活動」をすると、つまり、例えばお金だけを集めて報酬をするというだけではなくて、自



分も参加する。それによって、自分の「人間の成長」。まあ伴うというか、目指すそれとやはりそういう中でロータリーのみならず、自分の会社もしくは地域社会の中での自分がリーダーシップをとっていけるようなかたちをとると言う「リーダーシップの開発」ということもあります。そして何よりも。ロータリーのメンバー同士に、ある「生涯にわたる進歩友情」というものも当然大切になってきます。で、そういった意味で私たちはロータリーに参加する以上は、やはりしっかりと私たちがロータリーに対しての目的意識とその度に出来ればロータリーに対する熱意というものが必要ではないかなと言うふうに思います。まあ、多くの方がもちろん、目的を持ってしっかりとロータリー入っていらっしゃいますけれども、案外新入会員として若く入られた方、誘われて入られた方の中で、まあ結構1/3ぐらいの方は3年以内に退会するのが多いということが言われております。ということは、私たちロータリーに何を求めて？何をロータリーの自分の入って行く目的とするかと言うことを、やはりしっかりと持ちながら参加してこないとただ来ればご飯食べれる、来れば何かいいことあるかもしれないからおいでと言われロータリーの中で自分は何をめざしていくのかということとを本当はしっかりと考えていく必要があるのではないかなと言うふうに思っております。

そういった中で、今年ジェニファージョーンズ会長です。カナダの女性会長で初の会長と言われておりますけれども、今年のテーマは「イマジン」ロータリーを創造しよう。イマジンということでもあります。

この方はいろんなところで言っていることがあります。それは「多様性、公平さ、インクルージョンに関する声明」これに対してかなりこのジェニファージョーンズ会長が強く声明として言っております。どういうことなのかということ、この会長がよく言うのはインクルージョン・包摂性とかいろいろ日本語の訳があるんですけども、まあみんなを包み込むようなものと言う風になっております。後でもまた出るんですけども、まあ多様性と申しますと、例えばどういう事が考えられるかと言いますと、このロータリーの中で例えば外国人がいてもいいよねとか、例えば今うちも女性会員いらっっしゃいますけれども、クラブによっては女性かいが入らないようなクラブはありますけれども、女性会員も入りましょうとかです。あとインクルージョンという意味で言いますとその人を包括的に、包み込んであげると言うようなものというふうに考えていただければと思います。

で、このインクルージョンというのは、ロータリーの会長がインパクトロータリーというもののインパクトとロータリーで何が重要なのかという重要性を高める。ということにありますし、ええ、今日から会員基盤をこのことによって維持できると、あとロータリーもクラブ運営の中での活気と成長もたらすというふうに言われております。で今これって言いますと「DEI」といいます。「多様性・公平さ・インクルージョン」って言われても何のことなのかよく分からないというふうに思われるかもしれないんですけども、例えば想像していただきたいことは一つ、皆さんが男子パーティーをこれから開きましょう。例えば今日、帯広のどっかでダンスパーティーやりましょう、でダンスパーティーにみなさん来てくださいと誰でもいいです皆さん行きましょう集まりましょう、ええ、どのような形でもあのダンス、踊れる曲も踊れない人と、いいですよ、来てくださって。多分、そここのところで多様性であり、公平性であると思うんですね。でじゃあインクルージョンってなんなんだろうとかいったらダンスパーティーに来てくださいてはなくてダンスパーティーに来てダンスを踊ってくださいてというのは、インクルージョンと考えていただければいいと思います。つまり、多様性の連鎖ってというのは、ある意味ではロータリークラブに来ませんか？と言うのは、きついろいろなメンバー構成とか公平性という意味でのロータリーに参加してきてくださいという言葉があるんですけども。現代に生きてもただ入れるあの人、誰だかよくわかんないなんか話したこともないということから、その人をどう取り巻いていくのか？まあ今ダンスパーティーといえどやっって一緒にダンスを踊りましょうということとか、ということがインクルージョン風な考えDEIの一つの考え方として考え

ていただければありがたいというふうに思います。ロータリー活動にDEIを取り入れるということですけども、これはロータリーの適用と改革である。つまり、今までのロータリーの考え方で、はこのことはできないだろうと、これをぜひ皆さんと一緒に考えていければとジェニファージョーンズ会長はいつております。クラブにとって大切な事ということとは皆さんなんでしょう？やはりクラブにいて、そのクラブの例会、もしくはクラブの行事と一緒に参加することによって、心地よいと誰もが心地よい思える環境を作ること、そしてお互いの会員に対する配慮をしっかりとして行くということではないのかなというふうに思っております。まあ、なかなか皆さんもどうでしょう？ロータリーに入った時に最初から。イケイケで入ってる人ってまあ多分そんなに居なかったんじゃないかなと、自分もそうですけれども最初の頃はなかなかこう偉い人ばかりのもんですから、いつ辞めようかと思ってた時期もたしかにあったんですけども、なんかそういう時に、例えば一言声をかけてもらおうとか、何かということ、多分、自分にとってロータリーのクラブに行ける心地よさとか、いろいろな人間関係の配慮というものはきつとあったんではないかなと言うふうに思います。ですから、私たちはこれからももちろん新入会員を入れて行くということも大事ですけども、会員になった仲間に対していかに配慮して例会の中でのそのいることによる心地よさというものを作れるということが会員増強・会員維持に一番大事なんではないかなというふうに思います。それによってクラブとロータリーというものの中でも、その会員の体験に満足してもらえるようなものができるということでもありますし、そのことによって、私たちひとりひとりの会員がロータリー活動クラブ活動に対して積極的に参加する元になると言うふうに思っております。

日本のロータリーは女性会員が少ないというふうに言われております。また、先ほども言いましたように、若い世代の会員も少ない。これはうちのクラブばかりでなくて、日本のロータリー全体について言えるというふうに思います。じゃあ、なんでそういう風になるんだろうとか色々考えることあります。例えば会費が高いんじゃないだろうとか、固定した例会さつきちょっと昼の時間で言いましたけれども、昼、仕事皆さん忙しい中で昼の時間なんか来れないよという人もいるかもしれない。まあ、そういう中で例会の固定したやり方というものが本当にあるんだろうかと言うこともロータリーとして考えていく必要があるということですね。で、このことについては？ずついろいろな考え方がありまして、例えばこの帯広北ロータリークラブが例えば、朝やるとかいう夜やるっていう意味ではなくて、例えば今でしたら釧路北ロータリークラブが衛星クラブを作っています、釧路北ロータリークラブは75人ぐらい確かいるはずなんですけれども、衛星クラブ創りまして32人入りました。これは会費は年間、確か2万円が3万円ぐらいだと思います。月二回の例会です。で夜やります。いうことでまあ北クラブの人が北クラブなんですけれども衛星クラブの人は衛星クラブとして同じようにロータリアンとしてやってきます。衛星クラブの会員は、いわゆる親クラブというか。ええ協議会っていうのを作りますけれども、協議会の中で北ロータリーの昼間の例会ですね。出てもいいし、まあそれ確か水曜日にプリンスホテルでやりますけれども出てもいいし、衛星クラブとして月二回の例会も出てもいいと言うような形でやるから、ですから、例えばきたらうといくらが今後、若い人たち当クラブですね。帯広北が若い人入れて新しい例外を作るその中に、例えば今、仕事が忙しいけれども、衛星クラブだったら？できるよっていう人が、例えばロータリーっていうのをやめるか続けるかの二者択一の選択の中で、もう一つ衛星クラブという選択を入れるというのもありなのかなというふうに思います。つまり、ロータリーっていうのが、そういうふうな形で5・6年前から柔軟性という形の中でかなり言われておりますけれども、そういうものがあります。

後、もう一つは私たちもう一度考えてみたいのは女性会員が少ない、また若い世代が少ないことに対して何か見えない障壁というのがあるのではないだろうか？ということもじっくり考えていく必要があるのではないかなというふうに思いま



す。ちなみに女性会員っていうのは日本では？7%。2500地区は、日本の地区の中で一番低くて5%です。世界女性会議は24%という形で、特にこの2500地区、日本の中でも低いと言うような状況であります。じゃあ、若い世代と女性会員を取り込んでいくために取り込む為には、私たち何をして行ったらいいんだろうかということです。Ri理事会の目標といたしましては、女性会員数及びリーダー職に就く女性会員数を2023年まで30%来年ですけれども、30%という形で言っております。まあ、なかなか厳しい数字ではありますけれども、その中で私たちはじゃあどうしたらいいんだろうかと言うことを考えた時に、ここに「DEI」これ、ちょっと最後にインクルージョン・包摂性という名前で、いろんなところで色々な解釈がありますけれども、多様性があるって公平であって、そして包摂性とさっき書いてありましたけれども、インクルージョンがあるようなクラブ、そういうものをしっかりと作っていけるクラブというのが、私たちは、このこれからのクラブの会員増強・維持に対して必要なんじゃないかなと言う風に思います。

確かに仕事の関係で今までの例えばJCとかはYEGとかいろいろ繋がりもありますけれども、まあそういう仲間が入ってきて、もしかしたら？このDEIの私たち一人一人の考え方がなければ、これは穴の開いたバケツで水をすくっているのと、同じような形になっていってしまうんじゃないかなと言う風に思います。ぜひこのことを皆さんと考えればというふうに思います。参加者の積極的な関わりということで、大きく四つぐらいのテーマがあるというふうに思います。クラブの会員の積極的な参加を私たちクラブとして、やはり支援して行く必要があると言われているかなというふうに思います。それには私たちがクラブのビジョンが地域社会のニーズにしっかりと合っているのかどうか。私たちが自分たちが好きなようにやってればいいというクラブではなくて、私たちがロータリーとしてロータリアンとして活動していることが、本当に地域社会に合っているのかどうか、そして地域社会のふさわしい持続可能な、もう一つは測定可能な活動を本当に私たちは、この地域の中でしているのかどうかというところが大切だと思います。私たちのロータリーでご飯だけ食べに来てるわけではなくて、本当の意味で、まあ最後は自分の成長のための奉仕活動、言ってもいいと思いますけれども、こういうものを一つ考えていく必要があるというふうに思います。もう一つは価値を提供する為の参加者中心のアプローチということです。これはクラブ会員全員が参加できる方式、全てが一緒になって参加できる奉仕活動であって、その活動が効果を測定できるというのは、決して自己満足だけではなくて多くのロータリアンもしくはそれ以外の人から見てもこういう活動しているんだねと言うことをしっかりと見てもらえるようなクラブ運営というものが、やはりクラブにとって必要だと言う風に思います。あと、もう二つですね。個人的もしくは職業的な繋がりを築く新たな機会をちゃんと作っているんだろうかと言うことです。私たちロータリーというのは、本来は1業種1名という中で職業的なつながりを大切にしようという考え方でありました。今はこれはもう無くなってしまいましたけれども、やはり私たちやっている中では職業分類に基づいた多様な会員構成というのが必要になってないか？まあ、同じ業種の人だけで集まっているロータリーではなくて、色々な業種の人が集まる業種が違うからこそ、いろいろなざっくばらんな相談話ができるということでもありますし、

お互いの職業上のメリットもそここのところにあるんじゃないかなというふうに思います。それによってバランスの取れた先程から言っている年齢構成、また女性会員数というものを外に出てくるのかなというふうに思います。最後にリーダーシップの育成及びスキル研修の機会をちゃんと与えているんだろうかということです、マイロータリーを見ますとラーニングセンターというのがあります。皆さん是非登録してください。この中にはいろんなロータリーの情報があります。是非それを皆さん見ていただいて、いろいろロータリーについて書いてありますので、勉強されるのも必要だと言うふうに思います。あとクラブにおいては、若い世代の登用とできれば地区委員への出向をしていただきたい、一つには役が人をつくるという考え方もあると言う風に思います。ええ色々なやっぱりもちろんあの才能のある人でその役をどうしてもお願いしたいと言う役もありますけれども、クラブの中でもできれば多くの人が多く役をしっかりと努めることによって、ひとりひとりのやはりリーダーシップというものをしっかりとこのクラブの中で育成できる。だからこそしっかりと参加していかなきゃいけないんだという自覚を持っていただくということが大事なんじゃないかなというふうに思っています。なるほど、よく言う元気なクラブ、効果的なクラブっていうのは何なんだろうかっていうことを改めて考えてみますと今お話ししたような会員基盤をしっかりと維持して増大できるクラブというのは元気なクラブです。それとやはり地域社会や他外国とのプロジェクトをしっかりと実施できる私たちは何でもやってるけれども地域の例えば、いろんな活動をあんまりしてないよとか、外国っていうのはなかなかちょっとハードルがあるかもしれないけれども、今、地域の財団の中でも色々これをやっております。ですから、地域社会や他外国とのプロジェクト、しっかりとやはりクラブ全体で見ていく必要があるんじゃないかなと思います。これはちょっと手前味噌で申し訳ないですけれども。財政支援奉仕活動を通じてロータリー財団をしっかりと支援していただきたいと言うふうに思います。ロータリー確かに自分たちのクラブの奉仕だけだというふうに言われるクラブもあります。実は地区でもこういう地区が結構あるんですね。あのおう千葉とか山形だとかっていうのは、ちょっとあまり財団に対して否定できるところを実はありまして。まあ、そういうクラブもクラブという地区がクラブの中でしっかりと財団も含めたロータリ活動やれるということが大事だというふうに思います。そしてもう一つは、クラブレベルを超えてロータリーいうところで活躍できる指導者をぜひつくってほしいなと言いたいと言うふうに思います。まあ、先程の地区委員への出向ももちろんそうですけれども、ぜひ多くの皆さんがいろいろな地区の役割を持っていただいて、またクラブの中で見るロータリーという物の景色と、地区に行つての景色っていうのは全然違います。まあ、自分はちょっと、日本のあっちの方に地域リーダーという形で入ってるんですけれども、まあそれは全然違うと言えは違ふんですけれども、こういう少なくともまず皆さんにとってみたら？地区をぜひ皆さん経験していただいて、あのこの次の北ロータリークラブからぜひガバナーを皆さんで作って、次の世代をこの地区を支えていけるメンバーを作っていくっていただきたいと言うふうに思っています。

丁度いい時間だというふうに思います。どうもありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「休会」

■閉会宣言

■点鐘

木戸 辰浩 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉 芽室RC:めむろーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■出席報告/窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	メークアップ	欠 席	出席率